

2024年度事業計画

2024年3月

取組方針

- 2025年度からの増設滑走路供用後においても、安全で安定的に空港運用業務を提供できる体制を整備し、安心して快適に福岡空港をご利用頂ける環境を提供します。
- 国際線増改築工事を進め、増設滑走路の供用にあわせ、保安検査場の拡張やアクセスホールの整備を行うとともに、自動手荷物預け機やスマートレーンを導入し、ストレスフリーで快適なサービスの実現に取り組むほか、国内線においても複合施設の建設計画を推進します。
- 増設滑走路供用後の発着回数増加を見据え、エアラインセールスを継続的に実施し、航空ネットワークの拡充に取り組み、中国や東南アジア等の新規路線の就航実現、旅客の需要喚起に注力します。
- 空港周辺地域のご要望に対し柔軟かつ迅速に対応するため、課題解決策等の地域共生事業を推進します。

旅客数(2024年度)

国内線	1,720万人
国際線	740万人
合計	2,460万人

財務指標(2024年度)

営業収益	510億円
営業利益	8億円
当期純利益	△70億円

主な取組み①

安全で安心な空港運営事業の推進

- 増設滑走路の供用を見据え、場面管理体制や保安防災体制、消火救難体制等の整備
- 空港基本施設(滑走路、エプロン等)や国内線・国際線旅客ターミナルビルの着実な維持管理
- 安全・保安意識の向上を目的とし、GSE車両運転のスキルアップチャレンジ(技術大会)を開催



滑走路点検の様子

国際線地区の施設整備

- 進捗中の旅客ターミナルビル増改築工事を推進し、アクセスホールを整備(2024年11月竣工)するほか、保安検査場や出国・入国審査場を拡張(2025年3月竣工)
- お客さまによりストレスフリーにご利用いただけるよう、自動手荷物預け機やスマートレーンを導入
- 出国エリアの免税店を移転拡張するほか、到着免税店をオープンし、より魅力ある旅客ターミナルビルとして整備(2025年3月竣工)



出所: (株)船場、梓設計・HOK・西日本技術開発共同企業体

国際線旅客ターミナル拡張後(イメージ)

主な取組み②

国内線地区の施設整備

- 福岡・九州から航空機利用以外のお客さまに楽しんでいただける複合施設(商業施設・ホテル)建設計画を推進
 - ✓ ホテル機能を設け、都市機能を補完
 - ✓ 旅客動線に沿った交通機能再配置・バスターミナル新設
- 立体駐車場建設による収容台数の拡大(収容台数:837台→約1,600台)



出所:FORME perspective

国内線複合施設(イメージ)

航空ネットワークの拡充、需要喚起

- 中国や東南アジア等の新規路線の就航実現、及び更なる路線網拡充に向けた誘致活動の継続
- 九州域内の自治体及び観光推進団体等との連携を通じた、インバウンド、アウトバウンドの旅客需要喚起

CS(顧客満足度)・ES(従業員満足度)向上

- 空港全体でのCS活動推進(お見送り活動や空港周辺の清掃活動)
- ES向上に向けた休憩室の整備、空港従業員間の交流イベント実施



空港従業員間の交流イベント

主な取組み③

地域共生事業の推進

- 空港周辺地域のご要望に応じた、環境変化や時代の潮流にあわせた地域共生事業の推進
- 地域共生事業の「まち・ひとづくり」施策により、空港周辺地域及び空港の持続的発展に貢献

福岡県の空港の将来構想実現に係る協力方針

- 24時間利用可能で発着枠に余裕がある北九州空港の特性を活用
 - ✓ 北九州空港への貨物便の増便・誘致
 - ✓ 北九州空港と一体となり、福岡のプロモーション活動を推進

設備投資

- 空港活性化を目的とする設備投資：約230億円
- 空港機能維持を目的とする設備投資他：約40億円



出所：梓設計・HOK・西日本技術開発共同企業体
国際線地区イメージ